| | |
|---|---|
| 事例No. | 199 |
| 公表年度 | H29 |
| 団体の属性 | 中核市 |
| 団体名 | 神奈川県横須賀市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | 公営企業 |

| | |
|---|---|
| タグ | ・下水道事業<br>・（行政改革）業務の効率化<br>・公共施設活用 |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | その他 |

事例内容・タイトル

納入通知等の検針時での印刷・現地投函（経費減少）

出典

経営戦略策定ガイドライン（下水道事業・先進的取組事例集）

## 7. その他 （経費減少の取組）

事例32

○ 事例名等

| | |
|---|---|
| 事例名 | 納入通知等の検針時での印刷・現地投函 |
| 団体名 | 神奈川県 横須賀市 |
| 事業名 | 公共下水道事業 |

○ 人口・面積・密度

| 規模データ | 人口 人 | 面積 ha | 密度 人/ha |
|---|---|---|---|
| 行政区域内 | 415,862 | 10,083 | 41.2 |
| 処理区域内 | 406,227 | 5,849 | 69.5 |

1. 背景等

①取組みの背景（きっかけ）

水道料金等の検針・収納については、平成9年から民間委託を開始し、平成17年に「公募型プロポーザル方式型」で委託事業者を選定したが、契約終了に伴い、平成25年度に改めて、同プロポーザルを行うことになった。選定した委託事業者の提案の中に、郵送で行っていた水道料金及び下水道使用料の納入通知書を検針と同時に検針員が印刷・現地投函にする方法が示されていた。

2. 内容、効果額等

①事業内容

・水道料金及び下水道使用料の納入通知書を検針と同時に検針員が印刷・現地投函を行う。
（従前は、納入通知書を郵便で送付していた。）

②効果額

郵送料の削減額　　平成26年度　約480万円

3. 検討過程等

①スケジュール

| | |
|---|---|
| 平成25年４月 | 選定委員会委員の委嘱を行う。 |
| 平成25年５月 | 上下水道事業管理者から選定委員会に諮問する。 |
| 平成25年６月 | 水道料金等検針・収納及びシステム運用業務委託事業者の公募を行う。 |
| 平成25年８月 | 選定委員会で候補事業者を選定する。 |
| 平成25年９月 | 選定委員会から上下水道事業管理者に選定結果を答申する（この答申に現地投函についての評価が触れられる。）。<br>事業者の決定及び選定結果を公表する。 |
| 平成26年３月 | 事業者と契約を締結する。 |
| 平成26年４月 | 上下水道局公金徴収事務等委託規程を制定する。 |
| 平成26年12月 | 水道料金及び下水道使用料の納入通知書発行方法の変更を実施する。 |

②自治体外部の有識者の活用

| | | |
|---|---|---|
| i | 組織名 | 横須賀市水道料金等検針・収納業務委託事業者選定委員会 |
| ii | 構成員 | 学識経験者及び上下水道局の職員<br>※弁護士１名、公的機関職員２名を委員に委嘱した。 |
| iii | 委嘱期間 | 平成25年４月～平成26年３月 |
| iv | 開催回数 | 2回 |
| v | 経費 | 報酬 30,420円、旅費 2,496円 |

③住民・議会への説明

| | |
|---|---|
| 平成25年 ６月 | 第2回定例会の委員会の一般報告事項として、水道料金等検針・収納及びシステム業務委託事業者選定の実施概要を説明する。 |
| 平成26年 ９月 | 第3回定例会の委員会に一般報告事項として、納入通知書発行方法の変更を説明する。 |
| 平成26年10月～ | 市広報紙、上下水道局ホームページなどで住民への広報を実施する。 |

4. 今後の課題・考慮すべき点

・誤投函等による個人情報漏えい事故防止策の検討に時間を要した（導入後も引き続き課題として残る）。
・調定及び納入通知業務を委託するため、徴収事務委託規程の制定をはじめ、納入通知書様式の変更が必要になった。